

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通注記 ページ
項目名 頭 031		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (/)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0737. 94	a ^r tama (やや有声化)	
1731. 89	ゴ ^ウ ベ (老)	ア ^ラ マ
1862. 48	ズ ^ク 〈古〉 〈ズ ^ク ホルという。〉	ア ^ラ マ
2751. 10	ア ^ラ マ 〈新〉	コンベ
2812. 96	dzambo 〈子供の時〉	atama
3702. 81	atama 〈上の方. あじ(北)はは... (感)〉	
	k ⁱ -p ⁱ ta 〈首級という名〉	
3722. 97	adama 人間以外はhakkeという。	
3741. 57	teppe (苔)	adama
4618. 87	adama 〈北に離れ. 由良の(2014)ではア ^ラ マツアリ(北)というが=ニルでは単語もありない〉	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	普通注記 ページ
項目名 頭 031		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (2)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4619. 63	adama 毛髪のある部分	
	peao 前面	
4644. 10	a'ta'ma 〔若くは ko:be と言ふ。今は今:は人肉刺しにのみ使〕	
4648. 59	kajira <鼻>	atama
4677. 65	adama (被刺者の会話の中に自然に去つた語)	atama
4659. 50	ハツヤ (鼻) 前額部のみをガツヤという	アツヤ
4659. 85	hakke <下>	adama
4663. 49	doko:be 〔鼻〕	atama
4669. 55	gayko <下> (馬の頭を「ス」といふ)	adama
4686. 02	kwbi (頭の上. 後部) と kao を含み. 顔の 上とを kwbi という.)	
	atama (kao と小. ちがふ...)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通注記 ページ
項目名 頭 031		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (3)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4686.96	atama (kwbi kara we とおいう)	
4695.33	kwbi <鼻> 用例 kwbi okafigeru	atama
4696.82	kwbi 頬の部分と頭部分を合せていう。	atama
4700.37	zappa <下>	adama
4711.41	{kanadzūgi} <下>	{adama}
4711.49	アアア アアア(鼻) {アアア及びアアア(鼻)は 顔が入らない。	
4711.82	zappa <下> (用例 ザッパ下アアア……映画館(北ア))	adama kanadzūdzū
4721.36	{kanadzūgi} <下・鼻>	{adama}
4730.45	kanadzūgi <下>	adama

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通語 ペーシ
項目名 頭 031		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (4)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4731. 42	{kanadzügi} <鼻>	{adama}
4750. 32	ガン工 (精算)	アア?
4750. 76	gayko <下>	adama
4751. 42	adama kw bi <全体は比. 材を降. 下は アア? > アア? アア? エ アア? いう	
4760. 02	gayko <下>	adama
4760. 64	{gamko} <下. 鼻>	{adama}
5506. 68	Kobe <古>	atama
5528. 31	dzuko <下>	atama
5537. 99	dzuko <下>	atama
5547. 25	dzuko <下>	atama

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に変わる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通注記 ページ
項目名 頭 031		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (5)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5557. 48	dzuko <下>	atama
5565. 12	カツラ <糸>	アタマ
5574. 42	atama (186の[a]は[ʔa]らしく思われ(01は234))	
5574. 39	adama (左のdは t o.)	
5611. 39	atama <毛の生える部分を…>	kwbi
5615. 20	kwbi (?) 向の文と似た話のjsm各記号で果て正念のabb 建物の名。 atama 「=水に濡れとか……」と向の記号の各記号。	
5621. 43	atama 186のatamaと言ふ。先kagjiraと言ふ。kajiraは刺青した。	
5623. 85	atama <刺青的)は186の「atama」としてゐる。>	
5631. 16	Ko:betsu <糸> <ゴベツカバ……ゴベツカ……トト>	atama

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	普通注記 ページ
項目名 頭 031		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (6)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5631.26	otsumu <子 上> (ko:ketsuk:じ=トムシヨ)	atama
5635.65	アツマ (英) <gatta可能ko:betsu<らせり>	
5641.13	ko:betsu <古> <舞舞でははく使つた>	atama
5642.17	dzuko: <舞> <dzuko:i: 舞舞時使つた>	atama
5644.74	オツマツン <子> オツム <子>	アツマ
5645.89	オツム <子>	アツマ. オツマ.
5651.45	{ko:betsu 古}	atama
5657.93	アツマ (英)	
5664.51	!suno:ten <suno:ten ga ite: 舞舞に新舞舞時使つた>	atama
5671.68	amma <子>	atama

031	101	普通注記	
項目名		(B 除いた共通語)	
頭 031		(C 除いた特殊語)	(7)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5676.28	no:ten (鼻)	atama
5679.86	atama (荒) kasira kasiraは若.. 071:け.	
5681.41	kasira <鼻>	atama
5681.47	no:ten <鼻> <no:tenは鼻.. 110の形に使う>	atama
5686.31	me:me: <子>	atama
5698.91	atama 頭は a'ta'mais 189koi'o.	
5699.42	kasira <鼻. 117koi'o-117koi'oは鼻は.. >	atama
5782.79	adama <後頭部は usj:rodoppo 117j >	
6368.60	atama <~ga kasira >	
6412.12	ツムリ <土族語>	177

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通注記	ページ
項目名 頭		(B 除いた共通語)	(8)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6418.13	!ドタマ<下>	アタマ
6418.75	オツム<子> ドタマ<下>	アタマ
6419.09	ドタマ<下着> <ドタマは暗喩用語>	アタマ
6419.50	オツモ<上> ドタマ<下>	アタマ
6428.26	カフ ^ハ タマ<下> ドタマ<下>	アタマ
6438.33	ドアタマ<鼻>	アタマ
6439.01	ドタマ<下>	アタマ
6447.08	dotama [鼻]	atama
6457.45	オツム<子>	アタマ
6477.02	ドタマ<下> ワコロ<下>	アタマ

<ワコロカサマヤロカという非常に下品な言葉も
除いた。特殊の人間関係(マニアック)に
使われる。>

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	普通話 ページ
項目名 031		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (9)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6479.51	dotama (鼻)	atama
6480.29	オ・ム 新	アタマ
6482.52	dotama <下>	atama
6484.78	トクロ トクロは鼻新である。	アタマ
6485.14	ズツ<下> (ズツ、ドタマは喧嘩入時と此の言葉で、ズツクウス、 ドタマ<下> (ザルカ) モイワシダ、ズツカスズツ、ドタマツツシヤカ、と使はる。)	アタマ
6485.82	アタマ<アツマク、シヤゲルツ。> ドタマ〔下〕 ドクロ〔下〕	
6486.07	ドタマ<下>	アタマ
6486.50	ドクロ〔下〕 ドクロ(シヤゲテヤツ。ハロ和少の頭)はアタマの の意味。	
6487.66	ドクロ<下>	アタマ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	普通注記 ページ
031	101	
項目名		(B 除いた共通語)
頭 031		(C 除いた特殊語) (10)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6487.43	スウ<古> <但しスウは中流以上の音で、スウがタウとウと3音に分は、 アオバウとウと3音に分は、> ア<古> (後マ スウ、アはアタマとシ音味が5音とウと3音に分は、)	アタマ
6491.49	atama (海部郡の大坂部を以て舞鶴の方面を以て botama とも呼ぶ)	
6492.11	dotamá <下>	atamá
6494.21	トタマ <下>	アタマ
6498.61	otsumu (雑)	atama
6500.22	オツム <子孫の用語、或は、子供に対して使う語>	アタマ
6505.58	アオバ <女>	アタマ アタマ アタマ
6505.60	アハ <女> 区画: 阿波調査の調査結果、アハは阿波調査 による。	アタマ
6510.65	オム <中流以上の音> オム <同上> アタマ <普通>	
6512.02	dzm <古>	atama

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通注記 ページ
項目名 頭 091		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (11)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6518.30	オツム <地> スコタ <鼻>	アタマ
6518.87	アタマ 参考 <アタマノ テンペツ (アタマノ ベンノ巻) > スコタ <左>	
6521.17	トタマ (鼻)	アタマ
6523.54	otsumu <子>	atama
6526.45	カシラ <カシラに代って言う場合に使う。>	アタマ
6526.98	スコタ 隣の地裏ではスコタの鼻	アタマ
6527.22	sukota <鼻> <-ta はつてのオチは(こ)良い>	atama sukota
6527.44	sukota <〔鼻〕> sukota	atama
6528.06	suko <鼻> <雲...とはばである。が可成り便われる。>	atama
6528.21	suko <鼻> sukota <鼻> <suko.sukota の区別なし>	atama

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は数密にする。

質問番号	地図番号	普通注記 ページ
031	101	
項目名		(B 除いた共通語)
頭 031		(C 除いた特殊語) (12)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6534.37	otsumu <子.上> <子供に対して使うのが普通>	atama
6536.68	!suko <仲間同士で話している時ほど「アノ人」"sukokō"> tenten <子> tenteん <子>	atama
6537.06	swko <地.卑> <南に北の対比の別れの語。>	atama
6537.21	sūkōta <卑語>	atama.
6548.26	tenten <子> ... <幼児に対して> otsumu <子.上> ... <上品に...> otsumo <子供に> (「オツモ」)	atama
6552.90	atama <普通> <子供に用いた「アタマ」, 「アタマ」は「ア。」> otsumo <上品>	
6553.22	!dotama <卑>	atama
6553.47	atama <普通> suko <卑> <「アタマ」, 「アタマ」という語が「アタマ」, 「アタマ」である。> dotama <卑>	
6553.99	atama (「アタマ」)	
6557.14	sukōta <卑.言葉で普通には別れの語。>	atama

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	共通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (13)
項目名 頭 081			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6557.77	sukota <下帯> ... <帯の口を言う時に「すこた」は普通は使わぬ>	atama
6561.49	おそ<鼻> ドタマ<鼻語>	アタマ
6563.43	dotama 下 <ヤンチャなことをおぼし「ドタマ」といふ。おかしな「おかしな」は「おかし」>	atama
6564.51	atama <ぶつ> dotama <鼻> sukotama <鼻> otsumo <上><鼻>	
6565.17	otsumu <otsumu のおはし品は「おはし」は「おはし」の向う>	
6565.22	アタマ <アタマとも「おはし」は普通は「おはし」の「おはし」>	アタマ
6572.97	dotama 下	atama
6573.71	dotama <鼻> (「頭が痛...」といふ時は「アタマが痛...」といふ) 「ドタマ」は使わぬ。	atama
6574.06	dotama 下 <「ドタマ」は「おはし」の「おはし」を使う。>	atama

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語
031	101	
項目名 頭 031		(14)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6574.52	dotama <卑> (「アタマ」「ドタマ」)	atama
6580.66	スコタン <下> オツム <子>	アタマ
6581.36	スコタン <下>	アタマ
6581.52	アタン <子> スコタン <下品な吐き。男はアタマを使う。>	アタマ
6582.12	ドタマ <卑>	アタマ
6582.48	dotama {卑}	atama
6582.73	オツモリ <児童語を以て大人も使う。(例) オツモリアツモリアツモリ。> オツモ <此語も使う人もある。>	
6583.19	dotama <卑>	atama
6583.41	ātama !dotama <卑> <「ドタマ」は、けんか一時の時に使う。 頭痛の時は「アタマ」を使う。>	
6586.32	Kombe <古>	atama

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	普通注記	ページ
031	101		
項目名		(B 除いた共通語)	(15)
頭 031		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6590.08	オム <子>	ツマ
6591.02	トタマ <下>	ツマ
6593.98	atama (オムと同一の時、叱られた頭と上げられた時、 <small>く</small> [zukufu]という。その時「アツシカエリタヒ」といふと「頭」の 意としては全く別語。このエタマは「オム」に別れておく。	
6625.17	tsummuri 上.	atama
6632.88	atama tsummuri は頭の頂の一部という。	
6640.34	otsunu <子、土>	atama
6645.37	tsummuri <子>	atama
7229.45	atama (卑罵語は比喩的な「偉い人」)	
7248.49	zukupu: <年> gania <年>	atama
5667.24	カシラ <古>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通注記 ページ
項目名 頭 031		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (16)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7248.99	ズク=エウ ズク=エウは単称	392
7266.34	カホ カホは今お利に使われている。	392
7275.07	カウ (古)	
7303.29	atama (オムシ)	
7312.11	zukuunjui: (40. rōshi(時北) 意: 枕態・時(古))	atama
7312.83	otsuemu (稀)	atama
7316.93	dzukata ⁿ <下>	atama [?]
7320.59	atama (後頭部 tojiroji usirogami e...)	
7326.41	du'ku <単称>	a'ta'ma
7326.69	dzu'ki <下>	atama [?]

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通注記	ページ
項目名 頭		(B 除いた共通語)	(17)
031		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7331.41	ツク=ユウ [下]	ツツ
7335.19	du ^u ky <下>	atama ^u
7335.34	Kami <カミツル(頭痛)か、カミツル(髪)の同義語>	atama
7342.76	atama 後頭部 <i>ウジロボ:ズ</i> <ウジ>	
7343.14	du ^u <古>	atama
7344.30	dzukuta ⁿ <下>	atama ^u
7345.43	du ^u ky <下>	atama ^u
7350.96	ツク dzuku <下> ツク=ユウ dzukuyu: <下>	ツツ dtama
7352.61	ツツ <ツツ<ツツ>使用...>	
7356.70	mi ^u ke ^u <古>	atame

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	普通注記 ページ
項目名 頭 081		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (18)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7360.92	スグエツ ^ツ スグエツ ^ツ 1オ身語	792
7362.42	ゴア ^ツ <多ツ身>	792
7363.59	ゴア (下)	792
7372.03	792 <ビンツとは別の話。ビンツはツオツの北という>	
7372.96	ビンツ <ツオツの時ツ頭とビンツ(ツオツ) (横指の) という>	792
7375.71	atama <binta ... 頭の横の方>	
7375.96	atam ^ツ bo:zu <左>	atama
7381.97	792 (奥指とは一ツ身入時ツはツオツオツツオツの様にゴアという)	
7382.93	792 (ビンツとは別の話という)	
7383.98	ビンツ <左>	792 カシ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は数密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
031	101		
項目名		(B 除いた共通語)	(19)
頁 031		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7392.45	ゴラ <やや算>	792.
7392.94	ビンタ <ビンの字を何に使った?> ゴラ <音> <ハタの音を入れた音>	792.
7393.62	ビツ <?やや古>	792.
7394.60	ビツ (やや算か?) 例. ビツ、ワルゴラ ビツ ツイ	792.
7394.85	binta <音人>	atama a'tama
7403.21	dokuwa <下>	atama
7405.85	ドクワ (算)	792
7406.53	do'ta'ma <音>	
7410.57	otsummu <子>	atama
7412.71	dotama <下>	atama

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	普通注記 ページ
項目名 頭 031		(B) 除いた共通語 (20)
		(C) 除いた特殊語

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
7416.34	dōta'ma < なる時 >	atama
7427.90	dōtama < 下層社会 >	atama
7430.15	atama (後頭部とてはたぼう<ニラは donnakaobou>)とては)	
7433.52	t ^{is} umuji (古)	atama
7500.24	アタマ < 後頭部正. ポンクホという。 >	
7500.66	スコタン < 新 > < 下 >	アタマ.
7501.14	ガシラ < 下 > < 山仕事の日備はたか-おんたか > ドタマ < 下 >	アタマ.
7501.68	スタン < いてしめて-うとては >	アタマ.
7510.18	ドタマ < 下 > チンタン < 下 >	アタマ.
7512.43	ドタマ < 下 >	アタマ.

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通注記	ページ
項目名 頭 031		(B 除いた共通語)	(2/)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7513.01	スコタン <下>	792
7513.69	スコタン <下> スカッパチ <下>	792
7521.16	スコタマ <下>	792
7521.79	スコタマ <下> <サ> スコタン <下>	792
7522.48	コッパ <small><サに用いられる。></small> スカッパチ <下>	792
7522.94	スカッパチ <下> スコタン <下> カドチ <下> → <small><頭(カ)形を主としてマサ。></small> <small>チヤ ガンチ オキイニ アホヤ。(カウシカスガマバ) あはは。</small>	792
7523.05	スカッパチ <下>	792
7533.11	スカッパチ <下>	792
8239.31	adama <自然(ア)言方>	atama

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は敢密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通注記 4-2
項目名 頭 031		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (22)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
8301.19	ツラ<希> カミラ<希> ゴラ<希><希>	アア
8302.19	ビンタ<ヤヤ希.古>	アア
8302.55	ビンタ<希><ヤヤ古>	アア
8302.91	アア <ビンタは「マヨシ」のヒ> <ゴラヒヨエワサ>	
8303.71	ビンタ<ヤヤ古> (然し見考はヒヨシに決まらる)	アア
8305.76	gantsu 下 <使用度少ない>	atama
8306.42	gantsu <gantsugai: o wari: 分岐の意。> 後マ (gantsuは頭筋の意の形を推定される)	tsuburi
8311.41	binta <3>	atama
8311.59	binta <古>	atama
8312.33	binta <古>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は敬密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通注記	ページ
項目名 頭 031		(B 除いた共通語)	(23)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
8313.88	binta <多>	
8315.46	atama <平常語>	
	binta <卑称>	
8315.89	atama <新>	
	binta <昔よりあり 今も多用>	
	gantsu <古. 希>	
	tsuburi <古. 希>	
8320.59	binta <希>	atama
8321.58	atama <希>	binta
8322.68	binta <半々に使う>	
	atama	
8325.77	binta <卑>	atama
8330.58	binta <下品>	atama
8332.59	binta <希>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通注記	ページ
項目名 頭 031		(B 除いた共通語)	(24)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
8333.99	atama binta <半々使う atamaが「多少上品の方言」>	
8334.63	binta <土語>	atama
8341.12	{binta} <* > <古> - (〔校長〕)	atama
8341.46	binta <希> atama <日常語と互換。>	atama
8341.94	binta <希>	
8342.5/	kan <頭が痛。時のkanが痛。と「jirukanseと痛む」>	atama
8344.11	binta <多々使う>	atama
8344.71	atama <希> atama <今日が多々使う>	binta
8345.18	binta <「くわん」卑称に用いる>	
8351.07	binta atama > 半々	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通注記	ページ
項目名 頭 031		(B 除いた共通語)	(2f)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
8351.65	binta <希> <若い時程 つかい方 E L T O >	atama
8353.68	binta <材料の方向に使う時>	atama
8354.29	binta <希>	atama
8373.43	binta ⊕ binta とは 2 語? atama とは 1 語 1 と 1 語。	
0228.96	ka:tsi <多い>	tsiburu
0246.48	'ti'buru <古>	kamat'si
0247.31	tsiburu <希>	kamat'si
0247.56	kamat'si <新>	kamat'si
0249.17	hamat'si 自は発見一語はなし。共通語のたも異なりをE表示。	
0256.16	kamat'si (前の答) *ka'wa:tsi (新1-答)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() [] は敬密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通注記 ページ
項目名 頭 031		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (26)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0256.89	kamatʃi <多<	tuburu
0257.43	tʃiburu <希>	kāmatʃi
0294.93	tʃiburu 多<	atama
1213.76	tʃibura {擧}	Furadzi
1260.87	kāmatʃi <古> tʃiburu <新>	
2141.71	kanamatʃ <aXaは頭の顔の陰の部分に之>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通注記 ページ
項目名 頭 031		B 除いた共通語 (/)
		C 除いた特殊語

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4657.04	atama <共>	adama
5507.20	atama <新>	kobe
6582.73	アタマ <共>	ホソモリ <児童語で大人も使う。例、ホソモリアツ ホソモリ ホソモリ>
6591.57	アタマ <共>	アタマ
5667.24	アタマ <新>	カシラ <古>
4235.07	アタマ (新)	カシラ (古)
4406.53	a'ta'ma <今>	dōta'ma <昔>
4431.67	atama <共>	tsumuri
4511.66	アタマ <共>	アタマ
8304.06	atama <現死口多<使う>	dinta

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> () [] は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通注記 ページ
項目名 頭 031		[B] 除いた共通語 (2)
		[C] 除いた特殊語

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
8306.42	atama <共> <直頃は一カ方と普通に使う>	tsuburi gantsu ^{gantsu gaisi or wari: or 共} _{共 (gantsu is 既記の差の形に 指定される)}
8312.33	atama <新>	binta <古>
8313.88	atama <共>	binta <多>
8322.43	atama <上品>	binta
8331.12	atama <新>	binta
8332.07	atama <新>	binta
8332.59	atama <新>	binta <希>
8332.84	atama <新>	binta
8335.05	atama <共>	binta
8342.35	atama <やや上品> … <共>	binta

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通注記	ページ
項目名 頭 031		(B 除いた共通語)	(3)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
8345.10	atama <共>	binta
8345.74	atama <共>	binta
8351.41	atama <上品>	binta
8352.29	atama <希> <新>	binta
8352.40	atama <atamaの方と多く使う>	binta
8360.39	atama <上>	binta
8372.27	atama <上>	binta
8393.69	atama <新>	binta
9303.88	atama <新>	binta
9310.27	atama <新>	binta

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 031	地図番号 101	A 普通注記	ページ
項目名 頭 031		(B 除いた共通語)	(/)
		(C 除いた特殊語)	(/)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3774.61	ウスロゴト (後頭部)	アツマ
4711.49	クビガラウエ クビガラウエは「頭の上」の意。	アツマ. アツマバンコ (鼻) <small>アツマバンコ アツマバンコ には鼻の入り口。</small>
4322.79	Kan Kan (髪の色. 幼児語)	atama
4363.59	アツマゴラ(下)	アツマ ゴラ(下)